

『このミステリーがすごい!』大賞

# 自衛官が活躍するミステリー『生存者ゼロ』が 発売わずか3ヵ月で**55万部突破!**

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が2014年2月6日に発売した宝島社文庫『生存者ゼロ』は、2014年5月の重版をもって、発売わずか3ヵ月で5刷り55万部(文庫版のみ)を突破します。

本書は、宝島社が主催するミステリー&エンターテインメント小説の新人賞『このミステリーがすごい!』大賞の第11回大賞受賞作品。物語の舞台は北海道根室半島沖に浮かぶ石油掘削基地で、職員全員が謎の死を遂げ、その被害拡大の阻止を命じられた自衛官が未曾有の危機に立ち向かうパニックミステリーです。新人作家では異例の売れ行きで、オリコンが全国の書店およびWEB通販の調査協力店の実売データをもとに発表する週間“本”ランキング(2014/5/12付)の文庫部門で第8位、日販が発表する月間ランキング文庫部門(2014/4/30調べ)で第8位にランク入りしています。主な購入層は40~50代の男女で、『生存者ゼロ』というタイトル、表紙のイラストに惹かれて購入していただいております。また、昨今の自衛隊ブームを受け、自衛官が活躍する作品として普段はミステリーを読まない方にも手にとっていただいていると考えております。

宝島社では企業理念である「人と社会を楽しく元気に」のもと、今後も新しい才能や作品を発掘、育成し、より多くのお客さまに喜んでいただける価値のあるコンテンツを企画・提供していきたいと考えています。



宝島社文庫『生存者ゼロ』  
発売:2014年2月6日 定価:本体750円+税

### <あらすじ>

北海道根室半島沖の北太平洋に浮かぶ石油掘削基地で、職員全員が無残な死体となって発見された。救助に向かった陸上自衛官三等陸佐の廻田と、感染症学者の富樫らは、政府から被害拡大を阻止するよう命じられる。北海道本島でも同様の事件が起こり、彼らはある法則を見出すが……。未曾有の危機に立ち向かう! 壮大なスケールで「未知の恐怖」との闘いを描くパニック・ミステリーです。

### <著者プロフィール>

安生 正 (あんじょう・ただし)  
1958年生まれ。男性。京都府京都市出身、東京都在住。京都大学大学院工学研究科卒。現在、建設会社勤務。特技は、スキー、ベースの演奏。

### ベストセラーランキングに続々ランクイン!

- ★ **オリコン 週間“本”ランキング 文庫部門 第8位**  
(2014/5/12付)
- ★ **日販 月間ランキング 文庫部門 第8位**  
(2014/4/30調べ)

### 【『このミステリーがすごい!』大賞とは】

宝島社が本当に面白い作品・才能を発掘し、育成することを目的に、2002年に創設したミステリー&エンターテインメント小説の新人賞。これまでに、累計1000万部突破の「チーム・バチスタの栄光」シリーズ(海堂尊)、『完全なる首長竜の日』(乾緑郎)、『さよならドビュッシー』(中山七里)など、ベストセラーや映像化作品を多数世に送り出し、受賞作家はますます活躍の場を広げています。